



社会福祉法人横須賀市社会福祉協議会  
小・中・高等学校ボランティアスクール事業



小・中・高等学校の児童・生徒を対象に、当事者による講話・交流・体験を通して、ともに支え合う心を育み、地域の一員として「助け合い」の意識を高めていくことや自らができることについて考えるきっかけとなることを目的としています。

講師は、障害当事者、ボランティアグループ、地区ボランティアセンター関係者、横須賀市社会福祉協議会職員などが務めます。

講座名	内容
当事者による講話	当事者の講師（視覚・肢体不自由）から、日常生活の様子や不便さを解消する便利グッズの紹介、困っているときの声のかけ方など、皆さんに知ってほしいことなどについての話を聞きます。
手話体験	耳が不自由な方の生活やコミュニケーションの方法を学ぶほか、あいさつなどの簡単な手話体験も行います。 聴覚障害者の講師と手話通訳ができる健聴者（手話通訳者）と一緒に派遣します。
要約筆記体験	耳の不自由な方のコミュニケーションのひとつとして、言葉を文字にして情報を伝える要約筆記の体験を行います。
点字体験	目の不自由な方が様々な情報を得るための方法である点字について、実際に点字器を使用した文字の打ち方や読み方、目の不自由な人とのコミュニケーションの方法について学びます。
視覚障害者の誘導體験	目の不自由な人を誘導する疑似体験を行いながら、身の回りにあるバリアフリーについても学習します。
車いす体験	車いすに乗ることや押すことを体験することにより、身の回りのバリアについての気付きの機会とします。
<b>New!</b> 障害者スポーツ体験	障害者への理解を深める機会のひとつとして、障害者スポーツに関わっている方から話を聞くほか、障害者スポーツを体験します。
福祉活動	①赤い羽根共同募金について 募金の目的や使われ方などを学びます。 ②災害ボランティアについて 被災地での実際の体験について話を聞きます。 ③認知症サポーター養成講座（詳細は別紙） 認知症の特徴や対応方法を学びます。

# 申し込みから実施までの流れ

## ①事前相談

授業実施希望日の1か月半～2か月前までに「よこすかボランティアセンター」へ電話やメールでご相談ください。具体的な実施方法などを事前に打ち合わせる日程を調整します。毎年秋頃は申し込みが多くなりますので、この頃の実施を検討されている場合は、早い時期でのご相談とお申し込みをお勧めします。

## ②事前打合せ

担当の先生が作成する総合学習計画書等をもとに、児童・生徒の興味・関心ごとや学んでほしいことなどをお聞きしながら、実施目的に沿ったプログラムを組み立てます。

## ③依頼書の提出

授業実施希望日の1か月～1か月半前までに「よこすかボランティアセンター」へ電話やメールで依頼書をご提出ください。講師との調整に時間を要する場合がありますので、早目のご提出をお願いします。

## ④講師との調整・決定

「よこすかボランティアセンター」と講師とで日程や実施内容を調整します。講師との日程調整が難しい場合は日程の再調整をお願いする場合があります。実施日と講師が決定しましたら、担当の先生あてに決定通知書を送付します。

## ⑤講師との打合せ

担当の先生から決定通知書に記載の講師へ連絡していただき、講師と打合せを行っていただきます。打合せの内容は、当日の時間、場所、人数、内容、必要に応じてテキストや機材の確認を行います。なお、車いす体験又は視覚障害者の誘導法を行う場合には、コース設定、学校の備品(机やマット等)の借用・確認のため、原則として現地で打合せを行います。

## ⑥授業の実施

授業を実施します。授業時間を有効に使うため、児童・生徒へのテキストや機材の配付、始業時間前の着席にご協力ください。

なお、「よこすかボランティアセンター」が所有する体験に必要な機材については、授業前日に貸し出し、授業当日に返却していただきますが、機材の運搬は学校にお願いしています。

## ⑦振り返り

授業実施後に児童・生徒に気付いたこと、感じたこと、学んだこと、また、今後自分自身が取り組めることなどについて話し合うなど、授業の振り返りを行ってください。



### 【お問い合わせ、お申し込み先】

社会福祉法人横須賀市社会福祉協議会 ボランティアセンター  
(通称：よこすかボランティアセンター)

〒238-0041 横須賀市本町2-1 市立総合福祉会館2階

TEL 046-821-1303 FAX 046-824-8110

MAIL volucen@yokosuka-shakyo.or.jp

URL <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc>